

## 27年度市老連地区会員数

地区名	クラブ数	会員数
豊科地区	10	825
穂高地区	23	1,658
三郷地区	8	887
堀金地区	4	247
明科地区	13	1,004
合 計	58	4,621



2012年10月15日創刊

### 発行所

安曇野市老人クラブ連合会  
安曇野市社会福祉協議会内  
〒399-9304 安曇野市豊科4160-1  
TEL 0263-72-1871

発行者 若宮昭三  
印刷 株式会社綜合印刷



## 市老連十周年を迎えて

市老連会長 若宮 昭三

歳月の流れは早く、昭和

三十八年に南安曇郡老人クラブ連合会が創立されて以来、平成十七年に至るまで五十四年間の永い歴史を積み重ねてきました。

同年、安曇野は一つと言われる歴史的概念のもとに、五町村合併（穂高・農科・堀金・三郷・明科）に伴い新たな飛躍を目指す「安曇野市老人クラブ連合会」クラブ数七十八クラブ、会員数七千六百八十五名で発足致しました。

平成十八年、初代会長・齊藤茂昌氏の下に、第二回市老連総会を豊科「ふれあいホール」で開催されて以後、二代会長・山田文明氏と引き継がれて、平成二十六年度より三代会長・若宮昭三が受け継ぎ今日に至っています。この間、市老連事業としてはゲートボール大会、花いっぱいコンクール、芸能大会＆作品展、マーチングゴルフ大会、生きがい教室、楽々太極拳教室、生涯スポーツ交流大会など様々な事業を行ってきました。また市老連総会、県老連大会、ブロッサ研修会、女性指導者研修会な

どへ参加し活動してきました。

しかし、この十年間、全国的に会員数が減少している現

連でも会員数の減少している現状が見られます。全国老連でもこの危機を憂い、平成二十六年より五ヶ年計画で百万人の会員増強計画が立てられ、県老連も共に五ヶ年で二万人の増強を推進していますが、目標達成には難しい状況であります。

幸いにも我が老連は、五支部

のご努力により平成二十六年度は減少をくい止めて、増員する事ができ、県大会に於いて、連合会として唯一の表彰を受けました事は、五十八クラブの協力のお陰と感謝しております。本

おもに、市老連十周年記念事業として、後世に残す、「十年のあゆみ」の記念誌を発刊できました事を有難く思つてあります。記念誌発刊には、市福祉係のご理解と、五支部会長、会員より選出の編集委員会合わせて十五名のご努力によって、市老連の誇りとする立派な記念誌として、今後の市老連発展に大いに寄与するものと確信しています。十周年を契機として、五支部が充実したクラブ活動を計り、市老連の発展の為に一体となり、地域社会に貢献される団体となることを心より願願する

ものであります。それには、全クラブが地域社会から愛されるクラブづくりを進め、会員増強、退会者防止に力を入れて前進していく行こうではありませんか。

今後も安曇野市の発展のため皆様のご支援、ご協力を引き続

ぎ賜りますようお願い申し上げます。十周年を契機として、五支部が充実したクラブ活動を計り、市老連の発展の為に一体となり、地域社会に貢献される団体となることを心より願願する

ものであります。それには、全クラブが地域社会から愛されるクラブづくりを進め、会員増強、退会者防止に力を入れて前進していく行こうではありませんか。

さて、昨年市では市制施行十周年の節目の年を迎え「信州・安曇野ハーフマラソン」「全国名水サミット」等様々な行事を開催し、安曇野を全国へPRしてまいりました。

## 「あづみ野の風」 第7号発刊によせて

安曇野市長 宮澤 宗弘



この度は安曇野市老人クラブ連合会発足十周年誠におめでとうございます。

日頃から会員の皆様には、安

ら、健康・友愛・奉仕という考え方のもと、発足以来積極的に様々な活動を開催し、仲間づくりや、健康づくりなど社会に貢献されるとともに、市の発展に寄与されてこられました。

尚、昨年は市老連発足十周年記念事業として、後世に残す、「十年のあゆみ」の記念誌を発

刊できました事を有難く思つてあります。記念誌発刊には、市

福祉係のご理解と、五支部会長、会員より選出の編集委員会合せ

て十五名のご努力によって、市老連の誇りとする立派な記念誌として、今後の市老連発展に大

いに寄与するものと確信してい

ます。十周年を契機として、五

支部が充実したクラブ活動を計

り、市老連の発展の為に一体と

なり、地域社会に貢献される団

体となることを心より願願する

ものであります。それには、全

クラブが地域社会から愛される

クラブづくりを進め、会員増強、

退会者防止に力を入れて前進し

て行こうではありませんか。

今後も安曇野市の発展のため

皆様のご支援、ご協力を引き続

ぎ賜りますようお願い申し上げ

ます。

さて、昨年市では市制施行十

周年の節目の年を迎えた「信州・

安曇野ハーフマラソン」「全国

名水サミット」等様々な行事を開

催し、安曇野を全国へPRし

てまいりました。

また、新たに制定した「市歌」

につきましては、皆様に永きに

わたつて愛され親しまれ、さら

なる市民の一休感の熟成が図ら

れることを期待しております。

結びに、貴団体がこの十周年

という節目を契機に大きく飛躍

されることをご期待申し上げ

ますとともに、会員の皆様方の

ご健康とご活躍を祈念申し上げ

ます。

この度は安曇野市老人クラブ

連合会発足十周年誠におめでと

うござります。

貴団体におかれましては、激

変する社会情勢の中にありなが

ら、健康・友愛・奉仕という考

えのもと、発足以来積極的に

様々な活動を開催し、仲間づく

りや、健康づくりなど社会に貢

献されるとともに、市の発展に

寄与されてこられました。

尚、昨年は市老連発足十周年記念事業として、後世に残す、「十年のあゆみ」の記念誌を発

刊できました事を有難く思つて

あります。記念誌発刊には、市

福祉係のご理解と、五支部会長、会員より選出の編集委員会合せ

て十五名のご努力によって、市老連の誇りとする立派な記念誌として、今後の市老連発展に大

いに寄与するものと確信してい

ます。十周年を契機として、五

支部が充実したクラブ活動を計

り、市老連の発展の為に一体と

なり、地域社会に貢献される団

体となることを心より願願する

ものであります。それには、全

クラブが地域社会から愛される

クラブづくりを進め、会員増強、

退会者防止に力を入れて前進し

て行こうではありませんか。

今後も安曇野市の発展のため

皆様のご支援、ご協力を引き続

ぎ賜りますようお願い申し上げ

ます。

さて、昨年市では市制施行十

周年の節目の年を迎えた「信州・

安曇野ハーフマラソン」「全国

名水サミット」等様々な行事を開

催し、安曇野を全国へPRし

てまいりました。

また、新たに制定した「市歌」

につきましては、皆様に永きに

わたつて愛され親しまれ、さら

なる市民の一休感の熟成が図ら

れることを期待しております。

結びに、貴団体がこの十周年

という節目を契機に大きく飛躍

されることをご期待申し上げ

ますとともに、会員の皆様方の

ご健康とご活躍を祈念申し上げ

ます。

この度は安曇野市老人クラブ

連合会発足十周年誠におめでと

うござります。

貴団体におかれましては、激

変する社会情勢の中にありなが

ら、健康・友愛・奉仕という考

えのもと、発足以来積極的に

様々な活動を開催し、仲間づく

りや、健康づくりなど社会に貢

献されるとともに、市の発展に

寄与されてこられました。

尚、昨年は市老連発足十周年記念事業として、後世に残す、「十年のあゆみ」の記念誌を発

刊できました事を有難く思つて

あります。記念誌発刊には、市

福祉係のご理解と、五支部会長、会員より選出の編集委員会合せ

て十五名のご努力によって、市老連の誇りとする立派な記念誌として、今後の市老連発展に大

いに寄与するものと確信してい

ます。十周年を契機として、五

支部が充実したクラブ活動を計

り、市老連の発展の為に一体と

なり、地域社会に貢献される団

体となることを心より願願する

ものであります。それには、全

クラブが地域社会から愛される

クラブづくりを進め、会員増強、

退会者防止に力を入れて前進し

て行こうではありませんか。

今後も安曇野市の発展のため

皆様のご支援、ご協力を引き続

ぎ賜りますようお願い申し上げ

ます。

さて、昨年市では市制施行十

周年の節目の年を迎えた「信州・

安曇野ハーフマラソン」「全国

名水サミット」等様々な行事を開

催し、安曇野を全国へPRし

てまいりました。

また、新たに制定した「市歌」

につきましては、皆様に永きに

わたつて愛され親しまれ、さら

なる市民の一休感の熟成が図ら

れることを期待しております。

結びに、貴団体がこの十周年

という節目を契機に大きく飛躍

されることをご期待申し上げ

ますとともに、会員の皆様方の

ご健康とご活躍を祈念申し上げ

ます。

この度は安曇野市老人クラブ

連合会発足十周年誠におめでと

うござります。

貴団体におかれましては、激

変する社会情勢の中にありなが

ら、健康・友愛・奉仕という考

えのもと、発足以来積極的に

様々な活動を開催し、仲間づく

りや、健康づくりなど社会に貢

献されるとともに、市の発展に

寄与されてこられました。

尚、昨年は市老連発足十周年記念事業として、後世に残す、「十年のあゆみ」の記念誌を発

刊できました事を有難く思つて

あります。記念誌発刊には、市

福祉係のご理解と、五支部会長、会員より選出の編集委員会合せ

て十五名のご努力によって、市老連の誇りとする立派な記念誌として、今後の市老連発展に大

いに寄与するものと確信してい

ます。十周年を契機として、五

支部が充実したクラブ活動を計

り、市老連の発展の為に一体と

なり、地域社会に貢献される団

体となることを心より願願する

ものであります。それには、全

クラブが地域社会から愛される

クラブづくりを進め、会員増強、

退会者防止に力を入れて前進し

て行こうではありませんか。

今後も安曇野市の発展のため

皆様のご支援、ご協力を引き続

ぎ賜りますようお願い申し上げ

ます。

## 市老連発足10周年記念誌「十年のあゆみ」発刊！



### 記念誌の口絵(上)と序文



会議を重ねること七回、発  
トしました。以後、編集委  
員九名が選出されました。  
第一回編集委員会は九月  
七日に開かれ、市老連に相  
応しい充実した記念誌にし  
たいとの総意を得てスター  
トしました。発行部数は三十  
年間で一千五百部となりま  
す。

市老連は平成十八年に五  
町村（豊科・穂高・三郷・  
堀金・明科）の合併に伴い  
安曇野市老人クラブ連合会  
として発足して以来、昨年  
で十周年の節目を迎えまし  
た。この記念する年度にあ  
たり、若宮会長の強い思い  
から市老連の「十年のあゆ  
み」記念誌発刊委員会が設  
けられ、五支部より編集委  
員九名が選出されました。

刊委員の助言も頂きながら  
十二月二十四日に新たなる  
発展をめざす「十年のあゆ  
み」320部を作り、老連  
五支部・中学校・図書館・  
寄稿者等へ贈呈され高い評  
価を得ました。この評価は  
発刊・編集委員の皆さんが  
四ヶ月に及ぶ努力をされた  
結果だと感謝を申し上げ  
ます。

委員長 若宮 昭三  
副委員長 丸山 宏充  
委員 竹内 等々力  
委員長 藤岡 嘉  
編集長 勝山 孝子  
編集員 吉澤 錠二  
委員 藤田常三郎  
中山 隆  
山田 高久  
柴野 道夫  
藤澤 靖雄  
尾日向 安幸  
伊澤 初男  
久保田 優子

発刊・編集委員会名簿



記念誌編集に携わった発刊・編集委員一同



#### 安城市老連、安曇野市老連との親善交流会



事業説明する等々力副会長

平成二十七年十月二十六日  
午後一時から、社協穂高支所にて老連愛知県役員と市老連役員の交流研修会が開かれました。安曇野市からは役員十二名、市長寿福祉係、事務局二名の十五名が参加、安城市からは役員三十名と事務局二名の三十二名

の参加でした。まず、お互いの組織概要や活動状況についての紹介があり、安曇野市からは市職員による市の概要や老連への支援の話がありました。安城市は役割分担された発表で、毎年県外で交流会を重ねているだけあって充実した内容でした。その後、安城市の友愛訪問の取り組みについての報告があり、終始和やかな雰囲気の中で、お互いの活動状況が交わされ有意義な交流会でした。

# 愛知県安城市老連と 親善交流会を開く

# 市老連・花いっぱいコンクール!

汗を流して  
花壇づくりに励む!



特別賞・踏入老人クラブの花壇(豊科)



特別賞・野沢長寿クラブの花壇(三郷)

市老連が平成十八年に発足して以来、重要な事業の一つとして花壇コンクールが毎年八月に実施されています。本年も各五支部の二十三クラブが高齢者の生きがい事業として、花壇作りに汗を流しながら活動して来ました。こうした努力は地域の人々の心を癒すと共に、景観の場ともなつていて親しまれています。花壇審査員は、これらの実情をふまえ、審査基準によつて花の出来具合、花壇の規模、色の配合等により、採点50点満点を基準として慎重に審査し、特別賞・金賞・銀賞・銅賞を決定しました。

生きています。本年も各五支部の二十三クラブが高齢者の生きがい事業として、花壇作りに汗を流しながら活動して来ました。こうした努力は地域の人々の心を癒すと共に、景観の場ともなつていて親しまれています。花壇審査員は、これらの実情をふまえ、審査基準によつて花の出来具合、花壇の規模、色の配合等により、採点50点満点を基準として慎重に審査し、特別賞・金賞・銀賞・銅賞を決

定しました。

若宮会長から、それぞれのクラブ代表に表彰を授与されました。

今回、最高位を目指して花壇作りに励んだ結果、残念ながら

花壇表彰を授与された皆さん

大会＆作品展の開会式に於いて

の小田多井老人クラブ(堀金)・  
五回目の踏入老人クラブ長寿会  
(豊科)・二回目の野沢長寿クラブ(三郷)が受賞しました。受賞式は十一月十四日、穂高会館にて、開催された市老連の芸能

大会に表彰を授与されました。

良い成績が得られなかつたクラブもありますが、次回の花壇コンクールには、会員一同が結束して最高賞を授与されるよう期待しております。

丸山宏充

## 平成二十七年度 花いっぱいコンクール

### 特別賞

小田多井老人クラブ(堀金)

野沢長寿クラブ(三郷)

踏入老人クラブ親寿会(豊科)

金賞

重柳老人クラブ(豊科)

等々力樂寿会(穂高)

岩原豊華会(堀金)

西原旭クラブ(穂高)

新屋三ツ矢会(穂高)

富田和平会(穂高)

### 銀賞

ひといちばシニアクラブ(三郷)

熊倉春日会(豊科)

寺所老人クラブひさぎ会(豊科)

中萱長寿会(三郷)

耳塚老人クラブ(穂高)

青木花見親睦会(穂高)

穂高町区愛好会(穂高)

下長尾寿樂会(三郷)

矢原鶴齡会(穂高)

等々力町白寿会(穂高)

上堀老人クラブ(堀金)

明科第二第三長寿会(明科)



宮澤市長、若宮会長を囲んで記念写真を撮る会員の皆さん



宴で歓談する来賓者と会員たち

# 発足十周年記念式典開催

市老連穂高支部

歴史の節目を  
迎えて祝う穂高支部

安曇野市老人クラブ連合会は、  
去る平成二十七年十二月十一日、  
ダイヤモンドあづみ野温泉ホテル

で、市制十周年に伴う「市老連  
祝賀会」を開催しました。宮澤  
宗弘市長、橋戸勝也教育長、地  
元市会議員などお招きし、また

単位クラブ会長・同女性部長と  
共に五十三名が出席し、歴史の  
節目を盛大にお祝いしました。

老人クラブ穂高支部記念式・同  
祝賀会」を開催しました。宮澤  
宗弘市長、橋戸勝也教育長、地  
元市会議員などお招きし、また



挨拶する宮澤宗弘市長

## 作品展

安曇野市老連

作品展示会について

三郷支部藤岡嘉

今年度の作品展示会は、昨年十一月十四日、總合会館にて盛大に行なわれました。出品展示数が157点、前年比21%となつたが、会場が広かつたことと役員の努力で、人が納まつた事は良かったです。品種別に見ると、総高37名、32名、29点、三郷17名、51点、明科13名、14点、豊科10名、20点で、合計109名、157点です。写真、書道、工芸、手芸、小物等が展示され、趣味の小さきを示すと共に、作品の制作に打ち込む姿が想ばれました。



筆跡見事な掛け軸、色紙を展示



組み物や書を展示



絵手紙・絵画・折り紙等を展示



「形刹」仏像、八面大王、刀剣等を展示

## 第11回安曇野市老人クラブ芸能大会 & 作品展 市制施行・市老連発足10周年記念



写真・観察・クラフトかご等を展示



花壇審査の表彰を授与するクラブ代表者



開会を祝う挨拶の若宮会長



鶴やか衣装で「鶴高張情」を舞う總高堂好会



「チャンタキおけさ」を踊る中尾長寿会



「明科音頭」扇を広げて舞う明科音頭保存会



マジックを演じる西原旭クラブ



「花の舞」を踊る源原さわやかクラブ



ハーモニカを奏でる小岩岳ゆうゆうクラブ



「潮戸の花嫁」を合唱するアルプス銀婚会

## 芸能大会

安曇野市老連芸能大会

委員長藤山孝子

平成二十七年度の芸能大会が十一月十四日、總高会館において華やかに披露されました。ステージでは各単会の個性溢れる演技が次々と披露され、演技者に満がん、拍手が送られました。ダーレーブ会員が「手の輪」となっている姿は本当に素晴らしい。市老連の誇りもあります。今回、芸能祭の鑑賞者の一人として感じましたことは、舞台芸能は少し踊ることでも大事な要素ですが、見守る人も共に楽しめるループづくりが最も大切であることが分かりました。「二十八年度は豊公会館改修工事が完了し、新しい会場で多くのグループが参加出来る芸能大会にするため工夫したいのです。」



安曇野市老人クラブ芸能大会  
市制施行・市老連発足10周年記念



「昭和の花」扇を持って踊る明科明峰会



市制施行・市老連発足10周年記念



「花の舞」を踊る源原さわやかクラブ

# ラブ芸能大会 & 作品展 発足 10 周年記念



開会を祝う挨拶の若宮会長



艶やか衣装で「穗高旅情」を舞う穂高愛好会



「チャンチキおけさ」を踊る中萱長寿会



「明科音頭」扇を広げて舞う明科音頭保存会

**芸能大会**

安曇野市老人クラブ芸能大会 豊科支部 勝山孝子

平成二十七年度の芸能大会が十一月十四日穂高会館に於いて華やかに披露されました。ステージでは各単会の個性溢れる演技が次々と披露され、演技者に温かい拍手が送られました。グループ会員が一つの輪となつて踊る姿は本当に素晴らしい市老連の誇りでもあります。今回、芸能祭の鑑賞者の一人として感じましたことは、舞台芸能は美しく踊ることも大事な要素ですが、見る人も共に楽しめるグループづくりが最も大切であることが分かりました。二十八年度は豊科公民館改修工事が完了し、新しい会場で多くのグループが、参加出来る芸能大会にするため工夫したいものです。



「昭和の花」扇を持って踊る明科明峰会



「花の舞」を踊る塚原さわやかクラブ



ハーモニカを奏でる小岩岳ゆうゆうクラブ



マジックを演じる西原旭クラブ



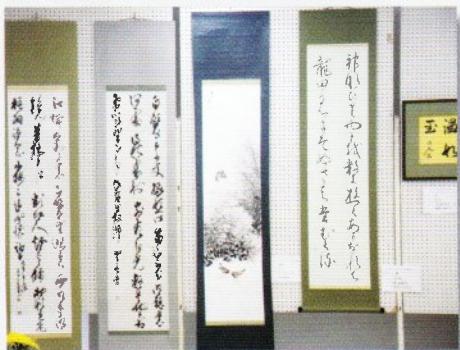
「瀬戸の花嫁」を合唱するアルプス銀嶺会

## 作品展

今年度の作品展示会は、昨年十一月十四日、穂高会館にて盛大に行なわれました。出品展示数が157点と前年比217%となつたが、会場が広かつたことと役員の努力で全てが納まつた事は良かった。出品者数と作品数を支部別に見ると穂高37名43点、堀金32名29点、三郷17名51点、明科13名14点、豊科10名20点で、合計109名157点であり、ジャンル別では、写真、絵画、書道、工芸、手芸などが展示され趣味の広さを示すと共に、作品の制作に打ち込む姿が偲ばれました。

### 安曇野市老人クラブ 作品展示会について

三郷支部 藤岡 嘉



筆跡見事な掛け軸、色紙を展示



パネルにワンピース、ベスト他を展示



編み物や書を展示



絵画・手工芸の数々を展示



絵手紙・絵画・折り紙等を展示



「彫刻」仏像、八面大王、刀剣等を展示

# 第11回安曇野市老人クラブ 市制施行・市老連



写真・瓢箪・クラフトかご等を展示



花壇審査の表彰を授与するクラブ代表者



芸能大会会場に集い、観賞する市民の皆さん



来場者を迎える受付



## ともに学び・ともに遊ぶ長寿会

明科支部女性部 中原 良子

平成二十七年は安曇野市合併十年の記念すべき年でした。

この年明科老人クラブ長寿会婦人部は安曇野市新庁舎を見学に行きました。

明科出身の議員宮下さん松坂さんから建設に至るまでのお話をお聞きし、職員の久保田様より内部を案内していただきました。木材が沢山使用され温もりとともに莊厳さを感じました。四階ラウンジからは常念岳有明山などアルプスの山脈が手に取るように眺められました。安曇野市の将来に明るい期待を持つて新庁舎を後にしました。次に豊科近代美術館で藤村千秋展を鑑賞しバラ園を散策しました。又その近くの特別養護老人ホーム豊岳荘を見学させていました。又三月八日は安曇野市出前講座をお願いして、血圧の勉強会を予定しています。

私達は、仲よく学び、仲よく遊び長生きしてよかつたと思えるような老人クラブを目指して頑張っていきたいです。

## 花壇作りで地域を美しく

重柳老人クラブ 等々力 等

私たちクラブは130名の会員で運営されています。生きがい行事の花壇作りは56坪と広く、又



金賞を授与した重柳老人クラブの花壇

行けたらと考えています。新しい会員を増やす活動をして行くことが大切と思います。

## 友愛と親睦

殿村老人クラブ万水会 齊藤 政広

旧豊科町細萱区の北域に位置し地域を縦断する万水川に因み万水会と命名。地下水位が高く名水百選もこの地から流出しています。当地区は百二〇戸に満たない小さな区で、会員数八十五名、高齢化が進んでいるのが悩みの種です。活動内容は、花壇作り、公民館の除草と樹々の剪定等。又公民館内に安置されている薬師如来の祭典と、毎年の物故者の慰靈祭・寝たきり会員へのお見舞・保養旅行は年三回温泉宿にて一泊、ゆっくり保養します。



殿村老人クラブ万水会の花壇

## 継続は力なり

上長尾福寿会 一木 永和

会の主な事業は、年二回のバス旅行、新年会、区公民館花壇の維持管理、ゲートボール部への支援、区公園のトイレ管理等であります。

事業運営について、最近行事への参加者の減少傾向が気になります。会員の高齢化に伴うものだと思いますが、先輩が造り上げて来た組織、事業が中断することなく、継続できますよう、会員と対話を重ねながら進めています。年三回の研修旅行(一回は日帰りバス旅行)、諏訪神社祭典の灯籠はり、公園地区内の清掃や、敬老会、もみじ会への参加、花壇作りや健康管理の学習会など楽しい会をしています。



バス旅行 上田を訪ねて

## 融和と親睦をモットーに

下長尾寿楽会 柴野 道夫

今後の課題として、若い会員の入会、活性化の手段として休止同然のマレット、大正琴の復活、カラオケクラブの導入に取り組んでいきます。

下長尾寿楽会は、65才以上の高齢者が集う、公民館活動の一つの団体として、組織されており、現在男性42名、女性53名で年間事業計画に基づいて、活動しています。春一番に総会があり、昼食を取りながら、計画を練りますが、その基本は、体を動かす事、お互いに話し合い、励まし合って、大いに笑って暮すこと、会や行事には誘い合つて参加することをモットーにしています。年三回の研修旅行(一回は日帰りバス旅行)、諏訪神社祭典の灯籠はり、公園地区内の清掃や、敬老会、もみじ会への参加、花壇作りや健康管理の学習会など楽しい会をしています。

# 一、生涯スポーツ大会

平成二十七年十月九日信州スカイパーク松本広域公園にて、生涯スポーツ交流大会が開催されました。安曇野市老連から十五名が参加。今回、実行委員長は若宮老連会長のもとで実施されました。午前中はグランドゴルフ、ペタンク、午後はマレットゴルフが行なわれましたが残念ながら入賞者なし。マレットゴルフでは、ホールインワン賞を中村善行（豊科）さんが授与されました。

二、安曇野市老人クラブ  
マレット・ゴルフ大会

平成二十七年十月二十三日、明科御宝田水のふるさと園マレットゴルフ場にて行なわれた。老連五支部から、96名が参加（豊科20名、穂高28名、三郷20名、堀金8名、明科20名）しプレーを展開しました。その結果、成績は次の通りです。  
等々力 等  
白鳥コース  
優勝 仲田好明（明科）  
二位 二木三雄（三郷）  
三位 内川教幸（明科）  
三位 松尾喬司（三郷）  
本平数男（三郷）



生涯スポーツ大会受付を担当する役員



ナイスショットを打ち熱戦を展開？

## 市町村ブロック研修会

今年は穂高支部と三郷支部で三回開かれました。講師は社協のいきいきサロン指導員である竹内明子氏に依頼。二日間で計百三十二名の参加があり、爽やかな汗を流しました。輪になつて両隣の人と手をつないでバランスを取りながら体操をしたり、二人組・四人組になつてボールに丸めたタオルをキヤツチするなどして楽一みました。



市町村ブロック研修会に参加された市老連の役員



タオル持って爽やかな汗を流す会員

旅行を行い、三十七名が参加しました。転倒予防を中心とした体操の講座が開かれました。

## 長野県老人クラブ大会

平成二十七年十月十五日（木）須坂市メセナホールに於いて、第五十六回長野県老人クラブ大

会に、クラブ会員一〇〇〇名が集い、市老連から役員十八名が参加し開催されました。役員一

行は途中のサービスエリアで早い昼食を摂り、午後一時に開会式、表彰、来賓祝辞が行なわれた後、佐久市の荻原さんによる「私の主張」と「人生九〇年

時代に期待される高齢者の生き方」と題してフリー・ジャーナリ

ストの内山二郎氏より講演会が行なわれました。次回の開催地は松本市で開かれます。

午前は「特殊詐欺等消費者被害を防止するために」の演題でブロック研修会が開催され、役員十六名が参加しました。

午前は「特殊詐欺等消費者被害を防止するために」の演題で塩尻市保健福祉センターに於いてブロック研修会が開催され、役員十六名が参加しました。

午前は「特殊詐欺等消費者被害を防止するために」の演題で塩尻警察署から講演がありました。午後は活動事例の発表があり、安曇野市老連からは、等々力樂寿会の望月副会長が活動事例発表をされました。

三郷支部は二月八日～九日、辰野町のかやぶきの館にて研修

市老連が平成十七年に発足して以来、ここに貴重な到達点としての十周年を迎え、また未来に向う市老連の前進のための、新たな起点となる節目を迎える事となりました。これを機に会報委員会では、紙面を一新し発行する事にしました。

①題字「あづみ野の風」のバッ

クに春の北アルプスの景観を挿入し題字を引き立たせる。

②十周年を迎えて掲載事が多く今回は8頁で発行する。

③市老連の目玉事業の「芸能大

会＆作品展」のレイアウトを変え写真を多く挿入する。

④市老連発行の「十年のあゆみ」の内容を掲載する。

⑤クラブだよりを2頁見開きで寄稿文・写真を掲載する。

以上の項目を会報委員会で検討して「目で見る」内容となるよう編集し発行しました。読者の皆さんには、会報をご覧のうえ、ご意見などをお聞かせ下さいますようお待ちしています。

終わりに「あづみ野の風」発行に際し、公私共ご多忙の中、皆様からご寄稿をお寄せ頂き紙面を一層充実させる事ができ感謝を申し上げます。今後、会報委員一同が市老連の活動を的確に発信して行く努力を重ねて参りますので、五支部のご協力を

お願いします。（丸山宏充記）